

近畿中国森林管理局

広島北部森林管理署 ひろほく通信

コウヨウザンの試験地を設定しました

広島北部森林管理署では、早生樹のひとつである「コウヨウザン」の試験地を俵原山国有林 1010 ち 1 林小班内に新たに設けました。

コウヨウザンは、スギやヒノキに比べ成長が早く 30 年程度で木材として収穫できること、材質に優れていること、伐採後の切株から次世代の萌芽が成長することなどから、スギやヒノキに代わる針葉樹の造林樹種として高い関心が寄せられています。

このため、広島北部森林管理署では、(一財)広島県森林整備・農業振興財団が育苗したコウヨウザンコンテナ苗を購入し、国有林内に 10m×15m の試験地を設け、植栽しました。

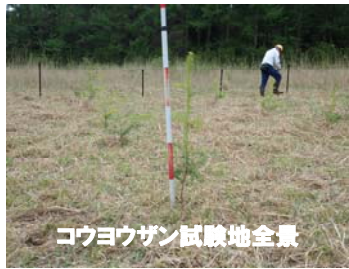
今後、成長量など様々な項目について、継続的な調査を行い、その結果について発信していきます。



ウサギ食害防止ネットを設置



コウヨウザンのコンテナ苗



コウヨウザン試験地全景



丁寧に植栽していきま



署長からの説明・提案



高校からの要望を聞く

令和 2 年度カリキュラム (変更される場合があります)

区分	1学期	2学期	3学期
1 年次	-	森林のもつ多面的機能 森林施業	事業地見学
2 年次	森林のもつ多面的機能 森林施業	森林・林業・木材産業の現状 新たな木材利用	国有林野事業の概要 森林組合事業の概要
3 年次	「森林・林業白書」の解説	事業地見学	2年間のまとめ

人材育成連携協定の連絡・調整会議を開催

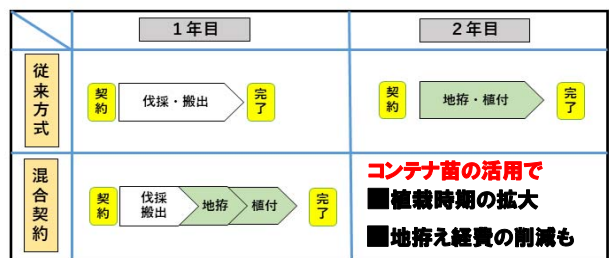
広島北部森林管理署では、広島県森林組合連合会と広島県立庄原実業高等学校との間で、同校の環境工学科で林業を学ぶ生徒を対象にした人材育成に連携して取り組むとした「人材育成連携協定」を締結しています。この連携協定に基づいて 3 者が相互に連携して、より良い森林環境教育、現場実習の機会を生徒に提供していくため、年 2 回、3 者による連絡・調整を図ることとしています。協定締結後、初めてとなる連絡・調整会議を 5 月 29 日庄原実業高等学校で行いました。まず森林管理署、広島県森林組合連合会から森林環境教育等の内容について説明を行い、その後庄原実業高校から、生徒が林業にふれあう機会の提供など多岐にわたる要望が出されました。広島北部森林管理署では、引き続き連携した人材育成に取り組めます。

低コスト林業を目指し混合契約に取り組めます

林業の成長産業化には、人工林を中心とした資源の充実の中、再造林面積の増加に対処するための**森林施業の低コスト化**が必要です。そのためには、**立木販売と造林事業(地拵、植付)の組み合わせや、コンテナ苗などの活用による「低コスト林業」**に取り組むことが課題となっています。広島北部森林管理署では、今年度初めて立木販売とその後の造林事業の組み合わせによる**混合契約**を管内の俵原山国有林において取り組みます。

この混合契約では、コンテナ苗を活用することで、立木の伐採・搬出と並行して、植栽ができることから**地拵の省略も可能**となってきます。事業を予定している混合契約事業については、署 HP 上で公告中です。

従来からの立木販売、造林事業と混合契約の違い



俵原山国有林 (混合契約)



俵原山国有林 (混合契約)



広島北部署庁舎

近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
TEL:0824-62-2155 / FAX:0824-62-2156
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19



国民の森林・国有林